

(1) 地域課題分野 (解決したい課題に対応する分野を以下から選択し、✓を入力)

①交通、 ②防災、 ③環境、 ④健康福祉、 ⑤産業、 ⑥農林水産、
 ⑦教育、 ⑧行政、 ⑨観光・文化、 ⑩その他 (①～⑨以外)

所属名	高浜町役場
担当者職・氏名	産業振興課 課長補佐 仲野博之
連絡先・メール	0770-72-7705 machi@town.takahama.lg.jp

(2) 課題 (貴自治体が困っていることや課題に感じていることを記載)

道の駅改修・白浜アウトドア整備・城山荘城山公園再整備 大規模事業の連鎖 特色ある立地である海辺の再整備
 関係人口から定住人口へ 観光施設の老朽化による再整備 施設相互の役割の明確化 観光施設と位置付けているが町民利用の促進
 民間運営企業のサウンディング 条件整理 公共投資の削減

(3) 現状 (地域の現状、市町が現在取り組んでいる事業を記載。実証参加企業が課題の規模等を把握しやすいよう統計データや予算額など数値やデータを付記)

概要について整理済 民間事業者の意見集約を進めている 整備に係る立地条件・景観は最適との意見

(4) ステークホルダー (課題の関係者や団体および、それぞれの役割・立場を記載。 庁内複数部署(課) や複数市町が関係する場合は必ず列挙) ※適宜行を追加

関係者・団体、関係市町・部署等	役割・立場
若狭高浜観光協会	既存観光事業者のとりまとめ役
町議会	公共投資の削減 事業の必要性

(5) 地域課題解決の糸口 (課題解決にむけてのアイデアを記載。国内外問わず他自治体での導入事例や、企業サービスで活用してみたいものを記載でも○)

公共用地上に民間施設を建設した事例が町内では少ない(農業用大規模ハウス企業誘致が唯一の事例)が、条件面整理し、民間資本の積極的な誘致または民間運営プレイヤーと意見交換したい。

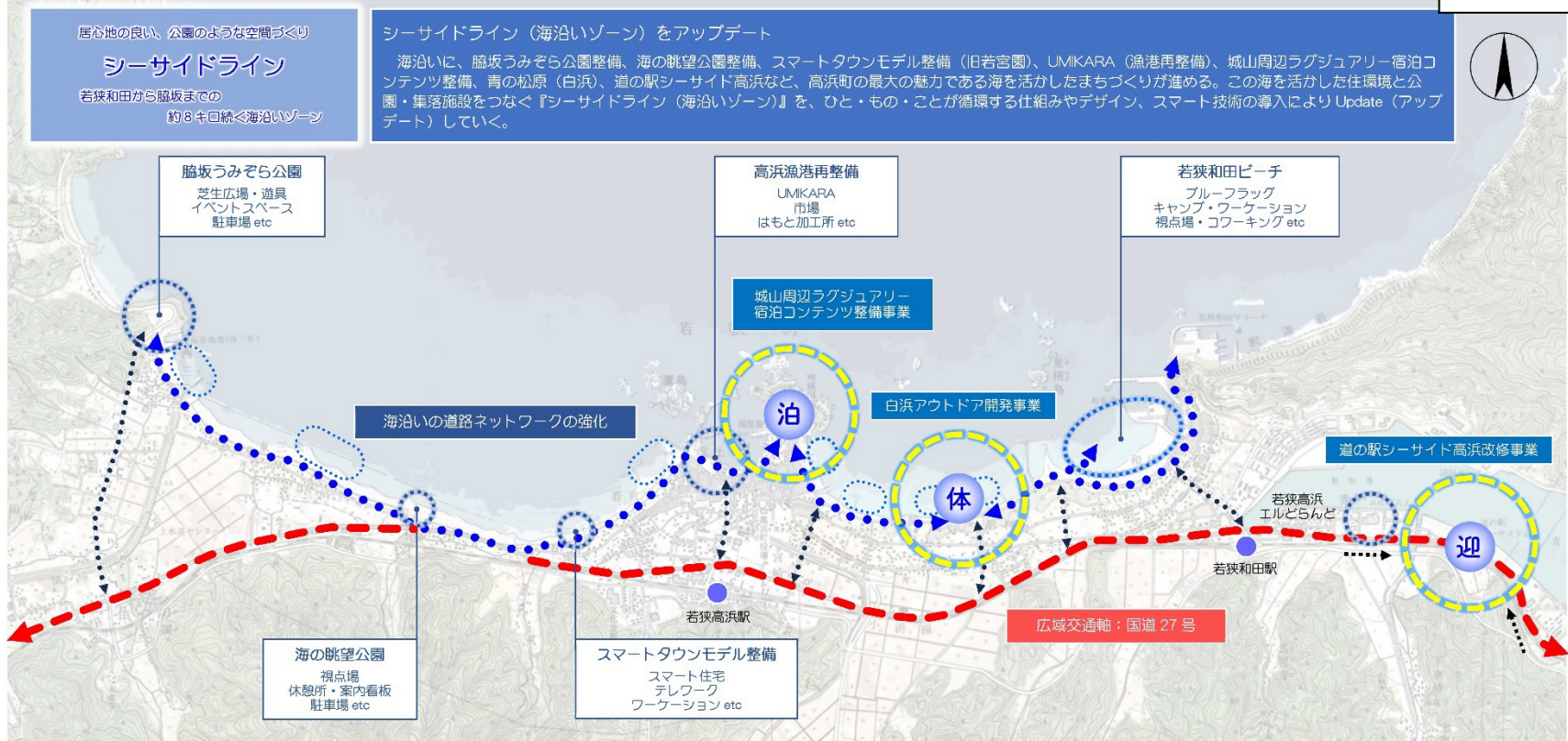
(6) 提供可能な資産・データ (貴自治体で実証を行うとなった場合、貴自治体が提供・協力できることを記載)

実証ということではないが、実際に民間プレイヤーと進めたい。
 用地については現在はそれぞれ異なるが町有地の部分は出来るかぎり協力したい。(道の駅は国交省用地もある。白浜は民間用地もある。)

シーサイドライン（海沿いゾーン）構想

シーサイドライン（海沿いゾーン）をつなぐ主要施設

所属名	高浜町役場
担当者職・氏名	産業振興課 課長補佐 仲野博之
連絡先・メール	0770-72-7705 machi@town.takahama.lg.jp



脇坂公園



城山荘・城山公園



高浜漁港（UMIKARA）



若狭湾と青葉山の眺望



若狭高浜エルどらんど



道の駅シーサイド高浜



(1) 開発していきたいエリア・場所 (未開発エリア・開発済だがにぎわいを創出したいエリア)

道の駅「三方五湖」および周辺土地、縄文ロマンパーク

所属名	観光商工課
担当者職・氏名	主事・山名覚
連絡先・メール	yamana-sa@town.fukui-wakasa.lg.jp

(2) 課題 (貴自治体が困っていることや課題に感じていることを記載)

- ・上記エリアは、「レインボーライン」や「常神半島」への導線上にあり、観光のゲートウェイとして重要エリアであるが、観光消費（飲食・物販・体験）ができる施設が乏しい。
- ・上記エリア内には、複数の公共施設が設置されているが、それぞれの役割が異なり、相乗効果を発揮できていない。

(3) 現状 (地域の現状、市町が現在取り組んでいる事業を記載。実証参加企業が課題の規模等を把握しやすいよう統計データや予算額など数値やデータを付記)

- ・R5年度中に道の駅再整備基本構想を策定、R9年中に道の駅をリニューアルOPEN（予定）
- ・入込数（R4実績） 道の駅：約24.4万人、年縞博物館：約4万人、縄文博物館：約2.7万人

(4) ステークホルダー (開発エリアに関係するステークホルダーを記載) ※適宜行を追加

関係者・団体、関係市町・部署等	役割・立場
福井県立三方青年の家（福井県生涯学習課）	青少年教育のための施設、道の駅と隣接しているが観光と親和性が極めて低いことが課題
福井県年縞博物館（福井県自然環境課）	年縞等展示・研究施設、来館者数を伸ばす取組として、本計画の利害関係が一致しており、連携した取り組みが期待できる
若狭三方縄文博物館（若狭町歴史文化課）	縄文土器や丸木舟等の展示、当エリアにおいて最も古い施設
DOKIDOKI会	縄文博物館友の会、ロマンパーク内の竪穴式住居の管理、体験イベント等を運営
鳥浜漁業協同組合	道の駅の地権者、道の駅敷地内「漁業体験施設」現指定管理者（～R7まで）、隣接地で小規模キャンプ場を運営
若狭三方五湖観光協会	道の駅「三方五湖」現指定管理者（～R8まで）

(5) 開発への思い・開発の方向性 (開発してどのような期待効果を得たいかや、どんなエリア・場所になってほしいかを記載)

- ・事業者（主要プレイヤー）のリーダーシップによって、エリア全体の活性化を目指したい。
- ・公共投資（道の駅リニューアル）と民間投資（店舗誘致等）の連携した開発で、エリア全体のブランド化及び集客効果拡大を見込める計画をつくりたい。
- ・道の駅と公園（縄文ロマンパーク）が一体的な空間になるように、民間活力を活かした新たな公共施設・空間の活用を検討したい。

(6) 提供可能な資産・データ (貴自治体で実証を行うとなった場合、貴自治体が提供・協力できることを記載)

ステークホルダーとの調整、会場提供、初期投資支援、インフラ整備 等